

第9課「節制」

日曜日/聖書に出てくる最初の酔っ払い

・人間に最悪の状態があるとすれば、それは、自己の認識と支配を失うときである。酒はこれら二つを狂わせる。ノアの「箱舟という大事業後の油断」が記されているが、酒は誘惑に対して無防備にさせる。川柳にこんな句がある「再会の酒が 二人を 危険にし」。

月曜日/アルコールの現状

・教課に載っていない他の「酒に関する聖句」

「酒を飲むことは、王たるものにふさわしくない。強い酒を求めることは、君たるものにふさわしくない。飲めば義務を忘れ、貧しい者の訴えを曲げるであろう」（箴言 31：4.5） / 「快樂を好む者は貧しい人となり、酒と油とを好む者は富むことがない」（箴言 21：17） / 「災いだ、酒を飲むことにかけては勇者、強い酒を調合することにかけては豪傑である者は」（イザヤ 5：22） /

火曜日/アルコールは「心の良薬」か

- ・〔日本の現状〕 酒を飲む人は総人口の半分を上回る約 6440 万人男性 10 人中 9 人、女性 10 人中 6 人/アルコール依存症の治療が必要な人 220 万人/飲酒する人の 25 人に 1 人がアルコール依存症/アル中予備軍 1510 万人/
- ・〔米国の現状〕 3000 万人に近い人が酒を飲んで問題を起こしたことがある/1100 万人の人が現在飲酒問題を抱えている/毎年 25000 人が飲酒運転による事故で亡くなっている/飲酒運転は 40 歳以上の人の死因の No.1 である/毎年 45 万人の若者が飲酒運転で逮捕されている/56%の人が飲酒運転をしたことがある/
- ・「アルコール」とは、生きている者を殺し、死んでいる者を保存するもの

水曜日/万事に節制する

・「節制」とは、あまり万事張り切らずほどほどにということ。何事にもブレーキが必要であるということである。そして確実に悪いものとわかっているものは摂らないということである。特に耽溺性要因のもの、つまり一度始めたら習慣になり溺れやすく止められなくなるもの、酒、タバコ、薬物、ギャンブル、こういうものに決して近づかないことである。 /百薬の長の目盛りを間違わずに読める人はいないのである。

木曜日/代価を払って買い取られた

・なぜ健康でなければならないのかと考える。ひとつは、人生は激務続きである。この激務を乗り越えるためには、やはり丈夫な体が不可欠である。でも時として、健康に自信を持ち、正義に立っていると主張する人ほど、他人の弱さに対し思いやりがなくなるといことも起こりえる。したがってこの聖書の「私たちの体は神の御子の尊い贖いの代価によって買い取られた。だから自分の体を大切にしなければならない」という視点で感謝から健康増進に励むことは素晴らしい立ち位置であると思う。